



こども教育学だより

鈴鹿大学こども教育学部通信 06号

春休みに学ぶ

春休みの2月13日(火)・14日(水)の2日間にわたり、日本赤十字社三重支部より講師の方に来ていただき、赤十字幼児安全法講習が行われました。こども教育学部では、幼児教育学専攻、養護教育学専攻ともにこどもの命を守る立場にある資格取得を目指しており、そのための知識と技術を学ぶ目的で1年生の学生が受講しました。赤十字の講習で行う手当ては、救命のために市民の行う一次救命処置と、傷病の状態をそれ以上悪化させないで医師の治療を受けられるようにするための応急手当です。1年生のうちこの資格を得ることで、今後の大学生活の中で参加するボランティア活動や学校や保育所での実習時の万一の場面にも対応できるスキルを兼ね備えることができます。大学は後期授業も終了し、春休みの最中ですが、このような機会を利用して、資格講習や講座開催などを実施し、自分自身のスキルアップにつながる取り組みを行っています。(小川真由子)



授業紹介

キャリアデザインⅠ 久保さつき・大久保友加里



“なぜ仕事をするのか、何のために働くのか”という問いかけを通して、学生一人ひとりが自分と向き合い、近い将来に向けての目標実現に向けた短期目標を立てています。卒業後、社会人として必要な能力について明確になったところで、本講義終盤では、教員採用試験一般教養の過去問題に取り組みました。年明けの授業初日には、自分が解けなかった問題を振り返り、それぞれの弱点分野を認識するとともに、次年度以降の課題も見えたようです。

情報処理Ⅱ 神谷勇毅

情報学は、卒業はもちろん、教員免許取得に必修です。鈴鹿大学で開講される情報処理Ⅱでは、教員として必要となるICT技能、ICT教材理解ということで、授業教材を制作し、模擬授業を通しての“気付き”とICT教材への理解を深めます。幼児教育学専攻の学生は、ICT教材「電子紙しばい」を、養護教育学専攻の学生は「保健指導」の教材を作成しました。作成テーマも、教材ということで、教材を使った授業の目指す教育効果にどの学生も配慮しながら、思い通りの教材を作成しました。



2, 3月トピックス

行事報告 (北ブロック交流会1/31)

子どもの育ちに関して「地域の教育力」向上は国民的課題です。三重県教育委員会は「地域の教育力向上ネットワーク構築事業」を行い、幅広い住民や団体等が参画するネットワークを構築し、地域の教育力の向上(コーディネート機能の充実、人材発掘、後継者育成等)を目指しています。

1月31日午前、三重県教育委員会主催、鈴鹿大学・地域学校等協働活動推進委員会共催による北ブロック交流会を本学で開催し、こども教育学部の1年生も参加しました。藤岡恭子教授が「地域が学校にどうかかわっているか—アメリカの事例」、坪井守教授が「新しいタイプの学校運営の在り方に関する実践研究(津市教育委員会・津市立南が丘小学校の共同研究)を振り返って」という研究と実践を報告。その後、学校運営協議会や放課後子ども教室などにかかわる多世代の参加者による座談会が行われました。

県教育委員会事務局筒井昭仁先生の名司会、アイスブレイクで一気に緊張がほぐれ、キーワードをもとにグループごとの話し合い、他グループ発表も学びました。学びを共有する講評を田口鉄久教授が行い、参加者から「学校は地域の持ち物」という感想もあり、大いに交流を深めた1日でした。(川又俊則)



アイスブレイク (交流会)



藤岡恭子先生



坪井守先生

学生広報部 SUZUKA9

イメージキャラクター
よるこびちゃん



こんにちは！ 学生広報部部長の楠木です！ 学生広報部は、大学と短大の各学部から9名で構成され、「SUZUKA9」の愛称で活動しています。主な取り組みは、オープンキャンパスの企画やSNS運営です。右の写真のように、SNSについてリクルートの方をお招きし、講習をしていただくこともあります。鈴鹿大学・短大は、新学部の設立をきっかけに、様々な新しい取り組みを行っています。私はこれからもっと良い学校に変わっていくと思います。この学校の良さを伝えていくことが、学生広報部の役割だと考え、私たちも新しい取り組みをたくさん企画していきます！ まずはSNSをチェックしてみてください！



平成30年3月10日発行

あとがき

鈴鹿大学こども教育学部通信 06号

次の年の春休みは保育や看護の実習があります。1年の春休みは、自分なりに自由に時間が使える貴重な時期なので、1期生のみんなも、学年末試験を終え、ふだん忙しくてなかなかチャレンジできないことをしていることでしょうか。・・・そして3月、徐々に暖かくなり、いよいよ2期生を迎える時期になりました。(TK)